

(1) 成果

- ・「短なわとび月間」と使用するカードを全学年で統一し、学校全体で体力向上に向けて取り組んだことで、子供たち自身が自分の体力を意識する機会が多くなり、意欲的に体力づくりや体育学習に取り組むことができた。また、「リズム縄跳び」を取り入れたことにより、楽しんで体を動かすことができた。
- ・ボールや高跳びのスタンド・バーなど、運動用具が充実することにより、一人一人の活動時間が増えた。意欲や関心の向上や運動量の確保につながった。
- ・学年が上がるにつれ休み時間に積極的に外で体を動かして遊ぶ児童が少なくなるが、声掛けにより外遊びに向かう習慣が身に付いてきた。

(2) 課題

- ・児童が日常的に運動に親しむために、学校内の運動用具・運動環境を整備する。
- ・運動が苦手な児童のためにも、体育の授業では体を動かすことの楽しさを感じさせるような工夫を行う。
- ・感染症拡大防止のため、昨年度は「持久走月間」「馬三元気アップタイム」「体力テスト」の実施ができなかった。また、運動領域によっては十分に活動を行えないものもあった。コロナ禍における体力向上の取り組み、感染防止対策をとった授業の工夫（指導上の工夫や年間指導計画の見直し等）を考える必要がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な運動感覚を身に付けられるような運動遊びを多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使用することで、子供たちが自分自身の課題を把握し、その解決方法を考えながら活動できるようにする。 ・体育館、校庭の運動遊具等を整備し、休み時間にすすんで運動に取り組めるよう、運動の日常化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい動き（技能面、安全面、態度面、工夫、発言など）を評価し、クラス全体へ広げる。 ・学習カード（日頃の授業で活用するカード、持久走カード、なわとびカードなど）を使用することで、子供たちの意欲を高め、休み時間や放課後、家庭などでの運動につながるようにする。 ・様々な運動遊びを多く取り入れ、運動の楽しさを味わわせるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な運動を通して、動きのポイントを身に付けさせるような授業を展開する。 ・「できる」経験や達成感を味わわせる工夫をし、運動の楽しさを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使用することで、子供たちが自分自身の課題を把握し、その解決方法を考えながら活動できるようにする。 ・体育館、校庭の運動遊具等を整備し、休み時間にすすんで運動に取り組めるよう、運動の日常化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい動き（技能面、安全面、態度面、工夫、発言など）を評価し、クラス全体へ広げる。 ・学習カード（日頃の授業で活用するカード、持久走カード、なわとびカードなど）を使用することで、子供たちの意欲を高め、休み時間や放課後、家庭などでの運動につながるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ 競技としての運動を通して動きのポイントを身に付け、意図的に体を動かせるような授業を展開する。・ 「できる」経験や達成感を味わわせる工夫をし、運動の楽しさを感じられるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・ 学習カードを使用することで、子供たちが自分自身の課題を把握し、その解決方法を考えながら活動できるようにする。・ 体育館、校庭の運動遊具等を整備し、休み時間にすすんで運動に取り組めるよう、運動の日常化を目指す。	<ul style="list-style-type: none">・ よい動き（技能面、安全面、態度面、工夫、発言など）を評価し、クラス全体へ広げる。・ 学習カード（日頃の授業で活用するカード、持久走カード、なわとびカードなど）を使用することで、子供たちの意欲を高め、休み時間や放課後、家庭などでの運動につながるようにする。・ 自分の課題に合った練習方法を選んだり、作戦を考えたりしながら学習に取り組めるようにする。